
ムクツナ小説

流麗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ムクツナ小説

【Nコード】

N2018H

【作者名】

流麗

【あらすじ】

ムクツナ小説です裏は自己責任でみてくださいたまたまにツナが違うキャラとからみますが最終的にはムクツナです

勉強なんて大嫌い

勉強なんか大嫌い

今の俺を一言であらわすならばこうだろう

浜辺に寝っ転がるトド

うん、我ながらいい例えだ

中間テスト直前

尻に火

がついたならばもう燃え尽きただろう

明日だ

だがしかし俺はなにもしていなかったいやできなかつたのだ

あのうるさいにもほどがある家庭教師はいない

かわりの

家庭教師をつれてきてやるぞといわれはや三日目

こうなったら代わりの家庭教師さん是不慮の事故があり来れなくなつたとかんがえるのが普通だろう

不慮の事故でダイナマイトの爆破や

上司の八つ当たり また興味ないのでこない

うん そうだろう そうだろうとも

「なにを一人で納得してるんですか」

…

「なっ！む、骸お」

「反応が遅いです。全く　さて　課題は…あー、ものの見事に真っ白ですね」

骸はため息をつきながら俺の課題をめぐった

「全く　アルコバレーノにあなたの家庭教師を押し付けられるとは…まあ保健だけならやってあげても…」

「お前…っってお前が家庭教師っ！ムリムリお前勉強できんの！？」

「できますよ　人並み以上はね、」

骸のことだ学者並みに良いんだろっ…
神様は不公平だ

「さて　どのように勉強しましょうか」

見事に真っ白な課題を見て骸は苦笑した

「でも　この僕を家庭教師にしたんです全科目90点以上は当然ですよね」　さりげなくプレッシャーをかける男

「可愛い綱吉くん　すりこみっておりますすよねアルコバレーノ勉強方に注文は付けませんでしたし」

骸の手が手が！！腰にい

「優しくしますね＝」　勉強はどうしたんだー

すりこみの結果

勉強

大っ嫌いになりました

前までは死ぬほど嫌いだったけどね（笑）

ある意味成功？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2018h/>

ムクツナ小説

2010年10月8日14時43分発行